

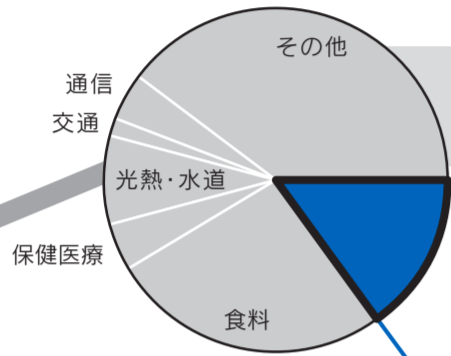
お父さん 一人負け

しばむ家計の「削りしろ」に

家庭での父親の地位低下が家計に表れている。総務省の「家計調査」でお父さん、お母さん、子ども、ペットそれぞれのための支出割合をみると、昨年は2000年に比べてお父さん支出だけが大きくシェアを減らした。使い道を明らかにせず自由に使える「おこづかい」が半減したことが主な要因。家計全体がしばむなか、お父さんが思い通りに使えるお金が真っ先に削られている。民間調査でも、ランチ代・飲み代を含むおこづかいは大きく減っていることが分かる。

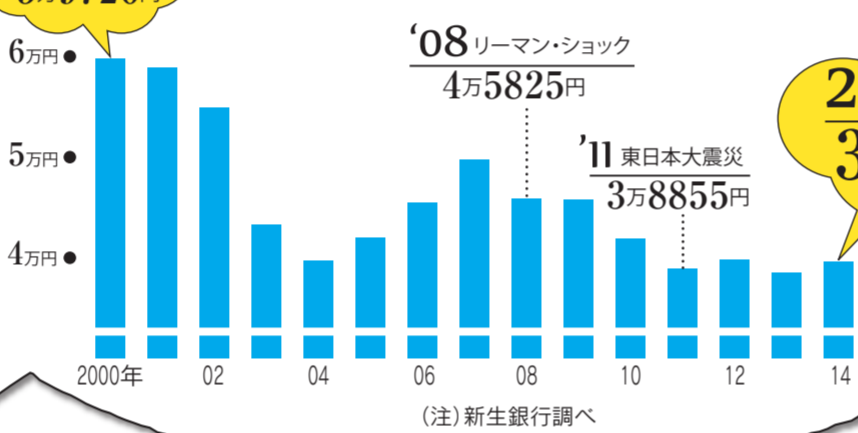
一家の消費支出
2000年 380.8万円
↓ -31.4万円
2014年 349.4万円

家族のお金の使い方 2000~14年でこう変わった



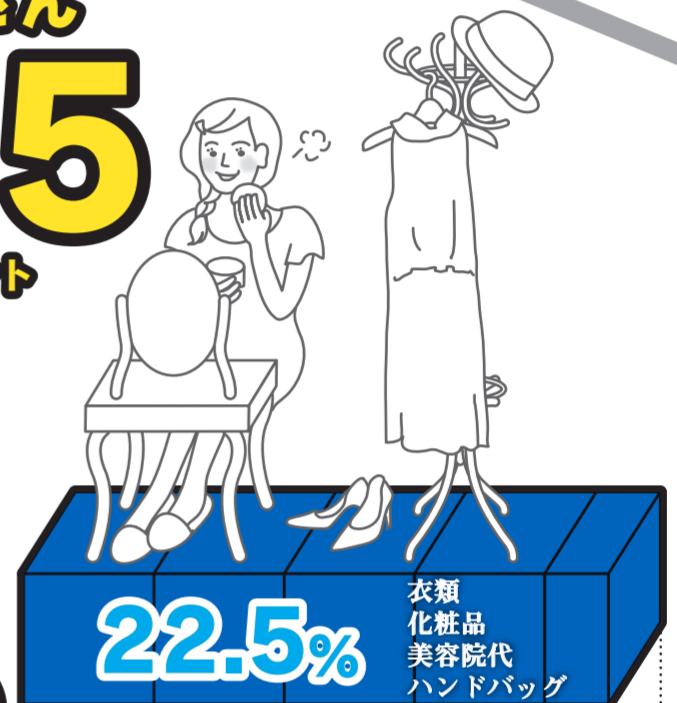
年間の家計消費支出のうち、お金を使う人が特定できる項目を選び、合計を100%とした

2000年 5万9726円 サラリーマンの平均月こづかい額



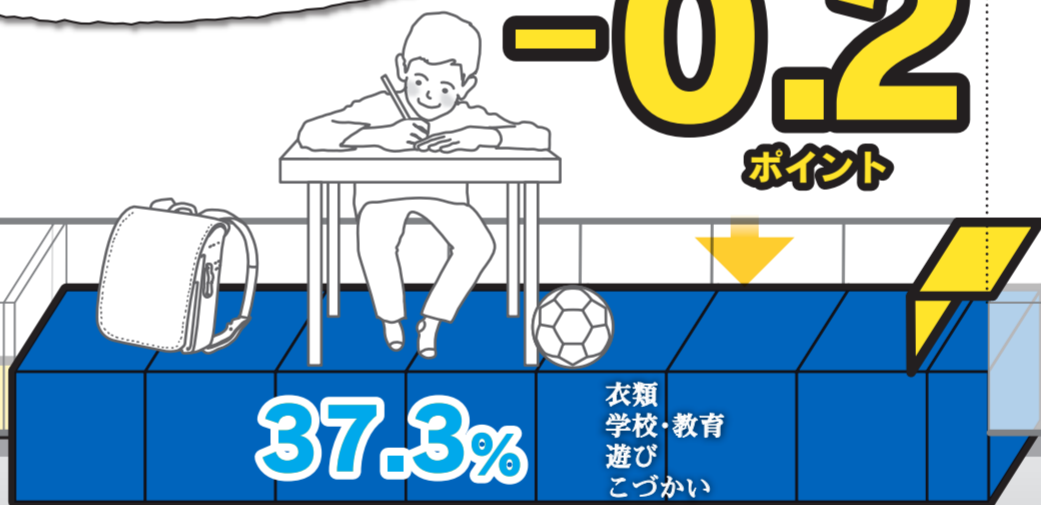
お母さん

+3.5
ポイント



子ども

-0.2
ポイント



2000年

2014年・家族のお金の使う割合



お父さん

-5.2
ポイント

36.5%

衣類
ゴルフ
世帯主こづかい
理髪料など

電子版で「もっと発見！」

縮む家計
それでも膨らむ出費は
Web刊 ▶ ビジュアルデータ

